



## 株式会社ミュージックバード 第47回番組審議会議事録

1. 開催日時 平成22年9月10日(金) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室

### 3. 出席者

#### ◆番組審議会委員

- ・矢内 廣 委員長
- ・松尾 修吾 副委員長
- ・小川 修武 委員
- ・中西 健夫 委員
- (欠席: 安倍 寧 委員  
福本 ゆみ 委員)

#### ◆放送局

- ・沼尻 社長
- ・江森 技師長
- ・山川 コミュニティ&ネットワーク部長
- ・雄谷 コンテンツ事業部長
- ・大澤 担当部長
- ・岩崎 グループリーダー・プロデューサー
- ・田中 プロデューサー
- ・事務局 高木

### 4. 議事概要

今回は、9月1日防災の日に「COMMUNITY」チャンネルで放送された『防災ラジオ2010～頼りになりますコミュニティラジオ』について審議が行われた。

- ・出演は、石井彰氏(放送作家)と、渡辺実氏(防災・危機管理ジャーナリスト)。
- ・当番組では、今夏も多くの水害などが起きる中、きたるべき地震や台風、大雨などの大災害と戦い、生き抜くために我々がすべきこと、ラジオができることを、過去の災害時、重要なライフラインとして力を発揮したコミュニティFMの活動をレポートした。
- ・番組スポンサーであるエネオスの全国約730か所の「震災時給油可能SS」の紹介を交えながら、全国89のコミュニティFM局を結んで放送した。

というようなことが放送局側から説明された。

これに対して委員からは、

- ・コミュニティFMというメディアは、災害時に非常に役立つ存在であると確信するが、一方で、平常時にも、いかに価値を創造するかが課題ではないか。
- ・大メディアには扱えないような、小さなエリアの情報源として、コミュニティFMの存在は貴重である。企業や一般のリスナーに、もっとアピールして存在を知ってもらいたい。
- ・放送内だけでなく、Twitter等インターネットも利用して、普段から「何か起こった時にはコミュニティラジオ」という情報を発信し、認知を得ておくべきではないか。

等の助言があった。